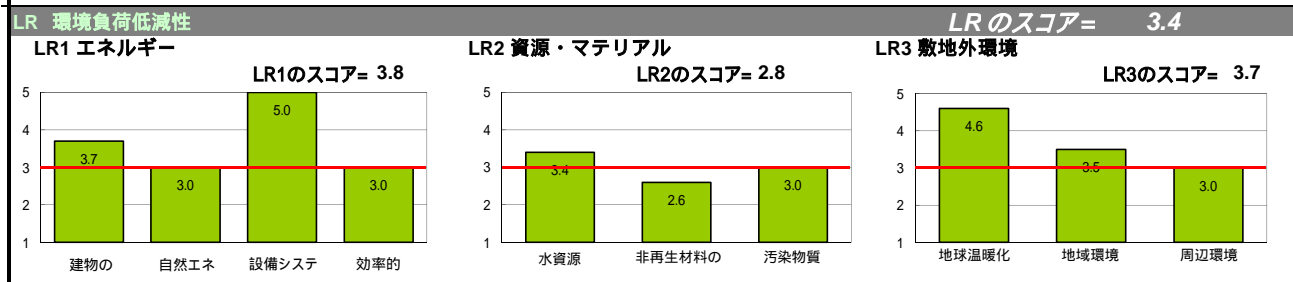
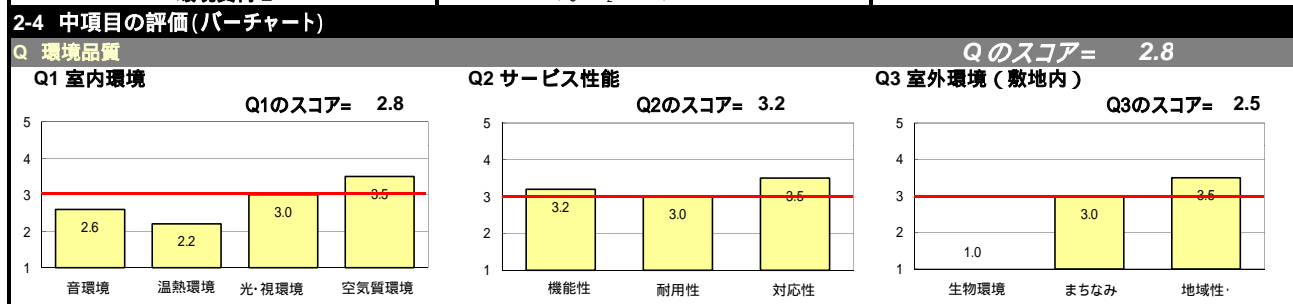
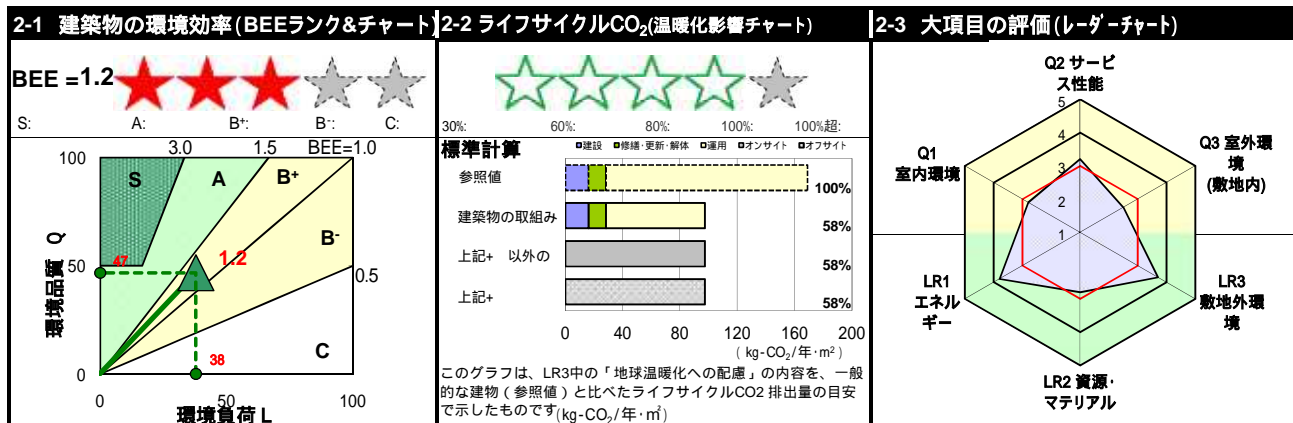


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ヤオコー藤沢柄沢店	階数	地上1階 塔屋1階
建設地	藤沢市柄沢特定土地区画整理事業	構造	S造
用途地域	第1種住居地区、第1種低層住居地	平均居住人員	556 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	4,300 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年1月 竣工	評価の実施日	2013年3月1日
敷地面積	6,226 m ²	作成者	株式会社 未来設計
建築面積	2,733 m ²	確認日	2013年3月1日
延床面積	2,819 m ²	確認者	株式会社 未来設計



3 設計上の配慮事項

総合	その他
地球温暖化問題を認識した設計を行いました。省エネや環境負荷の少ない資機材の使用、室内の快適性などに設計の重点をおきました。	0
Q1 室内環境 床・壁・天井・天井裏の面積の合計の70%以上の面積に建築基準法規制対象外となる建築材料を使用しております。全館禁煙なので、非喫煙者への配慮に繋がります。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の暑熱環境の緩和に取り組んでおります。
LR1 エネルギー 建物の熱負荷を断熱性能の高い壁の採用、日射負荷の少ない北側を向いた建物配置により省エネ法の基準以下に抑えています。空調・換気・照明についても同様に基準値以下に抑えました。冷蔵設備の廃熱について、大気排出をできるだけ少なくするように床暖房として廃熱利用を行っております。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の排出率を一般建物の58%に抑えています。ヒートポンプエアコン・オール電化システムを採用することにより、燃焼機器を使用しないため、大気汚染物質を全く排出しません。十分な駐車スペースを確保することにより、交通負荷の抑制に努めました。
Q2 サービス性能 天井は高いところで3.98mにもなるので、広さ感・開放感が得られます。内装壁面の仕上は維持管理に配慮した設計を行いました。空調・給排水配管の長寿命化を図っています。	
LR2 資源・マテリアル 節水可能な給水設備を設置することにより、水の節約に繋がります。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産、建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される